

PROGRAM

#1 初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 北海道医療センター

超急性期から慢性期まで幅広く経験、 個々のニーズに応える自由の高い環境

北海道医療センター 臨床研究部長 新野 正明

北海道医療センターの初期臨床研修について——

当院は3次救命救急センターを併設し、さらに民間病院ではアプローチが困難な神経難病、小児慢性疾患、精神科身体合併症、結核も担うなど、超急性期から慢性期まで幅広い医療ニーズに対応している500床の病院です。

初期研修医が獲得すべき救急対応能力や幅広い診療能力の習得にふさわしい病院であることはもちろん、多彩な診療科を有しているため将来の志望科が決まっている方、決まっていない方、どちらにとっても最適な研修環境にあり、将来どのような専門分野に進むに

しても大きな糧を得ることができる有意義な2年間を過ごすことができるでしょう。

プログラムの特徴について——

研修プログラムは、環境や仕事に慣れてもらう最初の2カ月間のみ固定で、研修医一人ひとりの希望に応じて選択肢の多い柔軟なプログラムを組むことができます。また、学会発表に向けてのトレーニングの場にもなっている院内の症例発表会や国立病院機構による「国立病院総合医学会」など、学会発表の機会も多く用意されており、さらに、全国の国立病院機構の研修医と共に勉強ができる「良質な医師を育てる

研修」への参加など、国立病院機構のスケールメリットを活かしたモチベーションの高い研修ができることも特徴です。

読者へのメッセージ——

医師になって最初の2年間はさまざまなことを経験できる大切な期間です。当院の常勤医師は80名強で全員の顔が見える関係にあり、指導医との距離も近く、一人ひとりのニーズに応えることができる環境にあります。積極的に自己主張して、自分のやりたい医療をどんどん経験してください。

急性期から慢性期まで揃った幅広い診療環境、そして一人ひとりの希望に対応できる魅力ある研修プログラムと共に、病院から間近に見える三角山など美しい自然豊かな環境も魅力であり、快適で充実した研修生活を送っていただけることを約束します。



PROFILE

出身地 : 山形県
出身大学 : 北海道大学(1993年卒)
宝物 : 家族
座右の銘 : 為せば成る



国立病院機構

北海道医療センター

所在地 〒063-0005

北海道札幌市西区山の手5条7-1-1

WEB <https://hokkaido-mc.hosp.go.jp>

病床数 **500**床 診療科数 **29**科

北海道医療センターの特徴

北海道医療センターは、地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院の指定を受け、地域の急性期医療のニーズに答える一方、札幌市全域・北海道をテリトリーとした政策医療（神経難病、精神科身体合併症、小児慢性疾患、結核）を担い、さらには災害医療の拠点（北海道災害医療拠点病院（DMAT配備）、札幌市災害時基幹病院）としての準備も怠ることのないよう日々努力を重ねております。

当院のモットーである「まいにちからまんいちまで」を、「ことわらない医療」を実践することで追求しています。



VOICE × 初期研修医

幅広い視点で多くのことに触れ、医師としての確かな礎を築く

初期研修医 2年目 佐々木 耕

目指す診療科が決まっていなかった私にとって、急性期から慢性期まで多くの診療科が揃っている環境や、希望によって自由にローテーションが組める研修プログラムは非常に魅力的であり、当院を研修先を選びました。

しっかり経験できる環境も魅力で、自分の希望で消化器内科を4カ月間ローテートした際は、上部・下部内視鏡を数多く経験できました。また、先生方から適切なアドバイスをいただき、検査時間を短縮するなど、着実な成長を実感しています。仕事は遅くまで残ることもなく、忙しすぎることもないので自分の時間をしっかり確保できますし、院内の雰囲気も抜群に良く働きやすい環境も魅力で、とても充実した毎日を過ごしています。



PROFILE

出身地 : 北海道
出身大学 : 久留米大学(2019年卒)
宝物 : 日々得られる知識
座右の銘 : 習慣は第二の知性なり